

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和04年02月03日

計画の名称	通学路の安全・安心を確保する基盤整備計画（第二期）（防災・安全）											
計画の期間	令和04年度～令和08年度（5年間）										重点配分対象の該当	○
交付対象	相模原市											
計画の目標	通学路における交通安全対策等を進め、児童が安全で安心して通学できる道路環境を形成する。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	14,774	A	14,774	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）	定量的指標の現況値及び目標値		
		定量的指標の定義及び算定式		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	相模原市通学路交通安全プログラム等により安全対策が必要とされた箇所に対し、対策を実施した割合を60%向上させる。			
	通学路交通安全プログラム等によって抽出された要対策箇所に対する対策済率 (要対策箇所の対策済率) = 通学路安全対策実施済箇所数 (箇所) / 通学路の要対策箇所数 (箇所)	0%	%	60%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	○	避難行動要支援者名簿の提供	○
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---	---------------	---

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R04	R05	R06	R07	R08			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	道路	一般	相模原市	直接	相模原市	都道府 県道	交安	(主) 町田厚木・ロビー シティ前	立体横断施設の整備 L=0.2 km	相模原市	■	■	■	■	■	1,679		—
	A01-002	道路	一般	相模原市	直接	相模原市	都道府 県道	交安	(一) 相武台相模原・麻 溝台8丁目交差点	交差点改良 L=0.14km	相模原市	■	■	■	■	■	1,335		—
	A01-003	道路	一般	相模原市	直接	相模原市	市町村 道	交安	(市) 小山66号ほか	歩道整備 L=1.2km	相模原市	■	■	■	■	■	1,224		—
	A01-004	道路	一般	相模原市	直接	相模原市	都道府 県道	交安	(主) 相模原大磯・九沢 橋	交差点改良 L=0.3km	相模原市	■	■	■	■	■	480		—
A01-005	道路	一般	相模原市	直接	相模原市	都道府 県道	交安	(主) 山北藤野・日連	歩道整備 L=0.44km	相模原市	■					776		—	
A01-006	道路	一般	相模原市	直接	相模原市	都道府 県道	交安	(主) 鍛冶谷相模原・田 名	交差点改良 L=0.45km	相模原市	■	■	■	■	■	650		—	
A01-007	道路	一般	相模原市	直接	相模原市	国道	交安	(国) 413号・二本松	交差点改良 L=0.24km	相模原市	■	■	■	■	■	1,443		—	

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R04	R05	R06	R07	R08			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-008	道路	一般	相模原市	直接	相模原市	都道府 県道	交安	(主) 相模原大磯・上四 谷工区	交差点改良 L=0.8km	相模原市	■	■	■	■	■	1,633		—
	A01-009	道路	一般	相模原市	直接	相模原市	市町村 道	交安	(市) 淵野辺中和田 ほか 1路線 鶯野森旧道交差 点	交差点改良 L=0.5km	相模原市	■	■	■			1,791		—
	A01-010	街路	一般	相模原市	直接	相模原市	S街路	交安	(都) 橋本相原線・西橋 本	交差点改良 L=0.27km	相模原市	■	■				808		—
	A01-011	道路	一般	相模原市	直接	相模原市	市町村 道	交安	(市) 下九沢51号 ほか 1路線 上中ノ原交差 点	視距改良・歩道整備	相模原市	■	■	■	■	■	1,200		—
	A01-012	道路	一般	相模原市	直接	相模原市	市町村 道	交安	(市) 文京大野 季節の 橋	立体横断施設	相模原市	■					92		—
	A01-013	道路	一般	相模原市	直接	相模原市	都道府 県道	交安	(主) 鍛冶谷相模原・大 島	歩道整備・交差点改良 L=0 .56km	相模原市				■	■	1,440		—

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R04	R05	R06	R07	R08			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-014	道路	一般	相模原市	直接	相模原市	市町村 道	交安	自転車通行環境整備事業	自転車通行空間の整備	相模原市	■	■	■	■	■	200	—	
	A01-015	道路	一般	相模原市	直接	相模原市	市町村 道	交安	市道相武台40号交差点視 距改善事業	視距改善工事	相模原市		■				23	—	
											小計						14,774		
											合計						14,774		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R04				
配分額 (a)	43				
計画別流用増△減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	43				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	41				
翌年度繰越額 (f)	2				
うち未契約繰越額 (g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 通学路の安全・安心を確保する基盤整備計画（第二期）（防災・安全）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	
I. 目標の妥当性	
1) 上位計画等と整合が図られている。（計画名 国土形成計画全国計画、社会資本整備重点計画、相模原市総合計画）	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性	
1) 地域の課題を踏まえて整備計画の目標が設定されている	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
II. 計画の効果・効率性	
1) 目標と指標・数値目標の整合が図られている	○
II. 計画の効果・効率性	
2) 指標・数値目標と事業内容の整合が図られている	○
II. 計画の効果・効率性	
3) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている	○
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果	
II. 計画の効果・効率性	
1) 十分な事業効果が確認されている	○
II. 計画の効果・効率性	
2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている	○
III. 計画の実現可能性	
⑤計画の具体性、円滑な事業執行の環境	
III. 計画の実現可能性	
1) 全体事業費、要素事業の額が適切である	○
III. 計画の実現可能性	
2) 事業実施のための環境整備が図られている	○

(参考図面)

